

武士の出陣表現 航空高全国2位

和太鼓大会

日本航空高の太鼓隊が、昨年12月に埼玉県熊谷市で開かれた和太鼓の大会「太鼓祭 in くまがやドーム2011」日本一決定戦（日本太鼓協会など主催）に初出場し準優勝を収めた。来場者の投票で順位を決める大会で、同隊は「本当の実力が試される場で、成果を残せた」と喜んでいる。

太鼓隊は創部32年。全国高などの実績がある。太鼓祭に校総合文化祭で最高賞になる「日本航空学園 太鼓衆猿」

の名称で、団体を対象にした「組太鼓」の部

に出場。部員20人（3年生は大会後引退）が戦に赴く武士を題材にした物語仕立てのオリジナル曲「甲斐源氏古流 玄照太鼓」を力強く演奏した。

太鼓隊OBで指導している坂口和江さん（25）、直江さん（24）姉妹によると、太鼓祭は参加者のプロ・アマを問わない上、来場者の投票で審査する実力本位の大会であることか

大勢の来場者の前で力強い和太鼓演奏を披露した「日本航空学園 太鼓衆猿」＝埼玉・彩の国くまがやドーム（昨年12月18日）



ら出場することにした。太鼓隊は上位2団体が本大会に進める西日本大会（9月開催）で準優勝。本大会には、西日本、東日本大会として開かれた二つの予選大会の上位計4団体と映像審査で選ばれた4団体が参加した。

同隊は、放課後の通常の練習のほか、休日・夜間の特別練習を重ねて予選・本大会に挑んだ。本大会では647票を獲得し、優勝した団体とは

99票差だった。和江さんらは「経験豊富な他チームを相手に、高校生らしいフレッシュな雰囲気を出せた」「大会までの過程もメンバーには貴重な経験となった」などと振り返る。

大会で同隊を引っ張った元隊長の杉野愛美さん（18）は「全員が一心となって素晴らしい結果を残せた。後輩にはさらなる上を目指してほしい」と話していた。